

労災疾病等医学研究普及サイトのご紹介 「じん肺」テーマ（平成 30 年度開始）

■「じん肺」とは

じん肺とは石炭などの炭素原料や、アルミニウムなどの金属の粉じんを吸うことで、肺が硬くなり、呼吸が困難になる疾病です。代表的な症状は咳、痰、喘鳴、息切れです。また、じん肺にかかると肺結核や肺がんなどの合併症への罹患リスクが増大します。

■じん肺の状況について

じん肺は現在、じん肺健康診断などの制度が整備されたため、患者数自体は減少傾向にあります。しかし、現在も 55 万人の労働者が粉じん作業に従事しているため、じん肺について研究を行い、疾病について解明していくことは、労災を防止するためにも、労災を迅速に認定するためにもとても重要なことです。

■労働者健康安全機構での研究

当機構では過去、[じん肺の合併症](#)や[診断方法](#)について研究を行ってきました。

今年度からは新たに 3 つの研究項目を設定し、じん肺の労災認定の迅速・適正化に寄与することを目的とします。

- ①続発性気管支炎における濃性痰中エラスターゼ測定
- ②じん肺における間質性肺炎の合併頻度に関する研究
- ③MRI によるじん肺大陰影と肺がんの鑑別

詳しい研究内容は、「労災疾病等研究普及サイト」をご覧ください。

→ <https://www.research.johas.go.jp/jinpai2018/>

また、当機構では医師対象のじん肺診断技術研修を毎年開催しています。

詳細はコチラ→ <https://www.research.johas.go.jp/jinpai2018/kenshu.html>